

議長（志村 忠昭）

これをもって、2番塩野議員の質問は終わります。

11番、渡邊美喜子君。

議員（渡邊 美喜子）

おはようございます。

11番、渡邊美喜子でございます。

一般質問をさせていただきます。

1点目は10月20日に町長が再出馬表明されました。

その中で「1期目の公約に掲げた施策や事業は、少し芽を吹きだした伏態であり、この施策を成し遂げて町を元気にし、町民の幸せ向上のため、次の4年間も一生懸命に取り組みたい」と再出馬の意志を示されました。

そこで質問をいたします。

2期目に向けての町長の施策方針や町の将来像など、どの様な展望を持っておられるのか具体的にお願いたします。

2点目の質問は以前から検討中であります善通寺、琴平、多度津町の1市2町による合同給食調理場の新設についてであります。

合同であるか、単独であるか、今年度中に結論を出すと言われていますが、この件につきましては、以前3月定例会にも質問をさせていただきました。

その折の答弁は「善通寺市が正式に多くの検討会を開催するための要綱を整備しました。本町と琴平町も検討会に参加する予定であります。単独で施設を更新する場合や合同で行う場合等検討することが、行政の透明性を確保し、説明責任を果たすことに繋がると考えています。本町の将来を担う子どもたちを最優先に考え、全ての可能性を排除せず検討すべきだと考えています。」と答弁を頂きました。

私も子どもたちのことを最優先に考えての2回目の質問であります。

多くの皆さんから意見を聞く中で、合同給食調理場となると、町にとって大きな問題であり、町の活性化、地産地消（ひまわりの会）、食育の問題、雇用の問題、配送エリアが広がる事の影響等が心配されております。

またあってはいけない事ではありますが、もし食中毒が発生した場合や、一箇所で作ることで子ども達の被害が広がる可能性があります。

その他、災害が発生した場合も的確に対応ができるのかも大変不安であります。

本町はここ近年、いろいろと設備をいくつか購入しています。

最小コストで最大の効果も考慮に入れ、児童生徒の食の安全、安心を守って町民の皆さんが納得いく形での建て替えを行っていかなければならないと思います。

また善通寺市の給食センターは昭和60年に建設され、経過年数はまだ28年足らずです。

耐用年数も残っており、昭和56年以後の建築から耐震についても問題がないものと考えられると聞いたことがあります。

そこで質問をいたします。

その後の進捗状況や町の方針等を伺います。

以上でございます。

町長（丸尾 幸雄）

渡邊美喜子議員のご質問のうち、「私の2期目に向けての方針や施策の展望について」お答えをしております。

私が町長に就任させていただいてから、これまでを振り返ってみて、公約に掲げた、住民参画・住民協働のまちづくり、財政の健全化、災害に強い安心・安全な町づくり、町おこし等観光行政の推進、高齢者福祉の向上、子育て支援の充実、更なる行政改革の推進、子どもの教育環境の充実、のこの8つの施策・事業につきましては、取りかかることができましたが、まだまだ道半ばでありますので、これらの施策、事業を充実してまいり所存であります。

また日本創生会議が警鐘を鳴らした、人口減少時代への対応が大きな課題となっております。

多度津の子ども達が就学や就職で一時は多度津を離れても、いずれ帰ってきて自分の親や子ども達と一緒に住んでほしい、その為に今やらなくてはならないのは、雇用と結婚機会の創出、そして子育て支援の充実だと常に申し上げておりますが、このことを更に推進していきたいと考えております。

また、新たな観光資源としての高見島を活用することで、移住、定住、交流促進に繋げていきたいと考えております。

多度津町の将来像につきましては、これからの第6次総合計画を策定する中で、町づくり委員会等で町民皆様のご意見を充分に聴きながら検討してまいりたいと考えております。

ご理解賜りますようお願いを申しあげて、その他のご質問につきましては担当課長より答弁をしておりますので、よろしく願いをいたします。

政策企画課長（岡部 登）

おはようございます。

渡邊議員の「合同給食調理場の新設計画について」のご質問に対し、答弁をさせていただきます。

本年3月の定例会で、答弁させていただきましたように、将来を担う子ども達のことを最優先に考えるとといった姿勢はなんら変わっておりません。

合同給食調理場ありきでもなければ、単独給食調理場ありきでもありません。それら選択肢を全て検討した結果、より良い給食調理場にしたいと考えております。

議員がご心配されております「食中毒」の問題は、被害の大小ではなく1人でも発生してはいけないことですし、災害の発生に関しましても、離れた場所であれば、町内と同じ規模の被害を受けずに済むかもしれません。

配送エリアが広がることは交通事故の確率が上がるかもしれませんが、地産地消のエリアも広がるため、美味しい食材を味わえる機会が増えることに繋がるかもしれません。

これらメリット、デメリットに、建設費、雇用問題など、全てを検討して結論を出したいと考え、予算措置を2度ほど計画するなどしてまいりましたが、現在は、事務局であります善通寺市の準備が整うのを待っている状況で、検討会は開催できておりません。

今後はこの現状を踏まえ、検討会のあり方も含めた方向性に対する結論を、早急に出せるよう関係者各位と検討してまいりたいと考えております。

以上で、渡邊議員の「合同給食調理場の新設計画について」のご質問に対する答弁とさせていただきます。

議長（志村 忠昭）

以上で、渡邊議員の一般質問に対する答弁は、町長、担当課長からありましたが、渡邊議員、再質問があればお受けいたします。

議員（渡邊 美喜子）

ご答弁ありがとうございました。

町長の2期目に対しての町政、出馬の向けての今施策等お話していただきました。

確かにこの多度津町、2期目に向けての町長の手法ということを大変期待しております。

町と議会とそして町民の皆さんが共有してよりいっそう強い信念で取り組まなければ、これは打破できないと、そのように私は思っておりますので、私も含めてですけども、議員としてもしっかりと町の方へ意見等も申していくつもりでおりますので、その分よろしくお願いしたいと思っております。

強い信念で前へ進むという部分を合わせてお願いしたいと思っております。

それから給食センターなんですけども、3月定例会に質問した答弁と同じようなのかな、という部分で、検討委員会もまだされてないという部分に関して、本当にやる気があるのかな、その様に私思われてなりません。

多度津町の給食センターは本当に老朽化がひどくって、1日も早く建て替えなければならないような状況にも関わらず、なぜそういう部分も含めて、善通寺、それから琴平と1回も検討会がされてないということに対しまして、すごく考えられないようなことでもありますので、その点もう一度、町としての方針は合同でしたいのか、するのか、それとも単独でするのか、その逆に何%、町民の皆さん、また子どものこと全て考えてると言われましたけども、少しはどういう方向性を持っているのかという部分も未だに答弁の中では見えてこないんですけども、そういう部分はどのように考えておられるのか、質問いたします。

よろしく申し上げます。

政策企画課長（岡部 登）

渡邊議員の「合同給食調理場の新設計画について」の再質問に対し答弁をさせていただきます。

時間と予算に限りがあるということは議員のおっしゃるとおりであると理解しておりますので、慎重且つ早急に検討してまいります。

また、多度津町の給食は他市町に比べて安全でおいしくて安くて言うことなしということにでもなれば、町外から学童を伴った転入者が増えるかもしれません。

これは人口減少問題に対する一つの施策になりえる可能性もありますので、より多面的に検討していきたいとも考えております。

以上、ご理解ご協力賜りますようお願い申し上げ、渡邊議員の再質問に対する答弁とさせていただきます。

議長（志村 忠昭）

再質問に対する答弁は、終わりましたが、渡邊議員、あれば再々質問をお受けいたします。

議員（渡邊 美喜子）

検討会をもっていただきまして、早急にやってほしいなという部分と、今課長がお話がありましたおいしくて安くて栄養たっぷりということで、本当に多度津町の給食は子ども達、食の問題、それから健康上とかそういう栄養部分も含めまして、今、食の問題が家庭等もいろんな、保護者の方からも聞きますが、本当に多度津町の給食はおいしい、子ども達皆さん喜んで、よく幼稚園のいろんなイベント等にも参加させていただくんですけども、その折一緒に老人会ですか、幼稚園の子ども達と一緒に食べる機会があるんですけども、本当においしくて言うことなしって、そのように温かい心のこもった手作りの給食という思いをすごくしておりますので、そういう部分も併せて、多度津町給食単独でやっていただければなあというふうに思っておりますので、その部分含めて言わせていただきます。

要望でございます。